	平	成 2	26 年月	医事務	事業評	価表(一	般	用)							
1		事業名 ミコード -	314. 学士业 /	可旧中古人				提				課コード 080300 <mark>TL</mark> 2991-1813 東づくり支援課			
5080310 訪問指導事業(乳児家庭:					尸訪問事業)			D.		部					
Ļ		開始年		→ 終了年度 平成 					, ,, ,	<mark>'ル−プ</mark> 健康づくり第1G					
② 事	/ -	事業の種別 ■ 自治事務 分野別計画・指針 所沢市次世代育成支持			□ 法定受託事務 『事業計画			□ 法定	受託+附	加		根拠法令 旧竞范外法 - 丹子思健注 - 所识末等大周			
-	B	りまりのあり <u>は、おります。</u> 関連・類似事業				X 7 X II II									
業 の	新	総合計画の体系	章 健康	•福祉	節	基 方	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
概要	4	事業開始の背景	におけるス	大きな課題にな	t会背景の中で、母親の育児不安に早期に対応するために平成7年から開始した。今日では児童虐待防止が母子保健 なっている。また、若年及び高齢、精神的な問題を抱えたり、DVや虐待被害のある母親への支援、低出生体重児を出産 ナポート等、ニーズも複雑化しており、妊娠中や出産後早期の対応が求められている。										
	が が カ	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 妊娠中及び出産後早期に訪問指導を行うことによって、親の孤立感や育児負担の軽減、虐待防止に繋げることができる。その結果、母子の健全な育成を図ること ができる。													
3	Ż		対象としている	•				対象数	(単	単位	平成 24 全		6,768 人		
業	<u> </u>		生児、乳幼児を							3	平成 25 年	F度	6,769	人	
σ.		申耒の呉体的な	:内容及び実施	刀法											
	内 出生連絡票や電話による訪問希望がある者、他市町村からの訪問依頼、医療機関から継続支援依頼の連絡があった者、未熟児養育医療受 埼玉県から権限移譲された未熟児訪問の対象者)に対して保健師及び助産師が家庭訪問を行う。内容としては、発育・発達状況の確認、養育 保健指導を行うとともに、母親の産後の状況を確認し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行う。また、母親の産後うて 待防止のために質問用紙を用いて、母親のメンタルヘルスに関する支援を行う。											、養育状況の研	確認と必要な		
		≪会計種別≫	一般	会計	平成 24	年度 (千	-円)	平成	25	年月			26 年度	(千円)	
	-	当初予算 h	1 7. 4. + · · ·				8,051					364		9,078	
4 経		決 算 (見込み含む) (非常勤特別職員) (臨時的任用職員)			7,861			(000 1)				8,578 ※「財源内訳」について			
402	` <u> `</u>	正規職員人件費			3.79 人 33.587			(0.00 人) (3.61 人				2.00 人)			
費	耳	事業費合計			41,448						40,	40,664 の内訳となっています。			
		財一般財源			39,023				38,	187		5,723			
		(内) 国・県支出金 訳 その他(2,425				2,	477 0	,				
	÷	Colle		目名		項目説明		単位			H 24	H 25	H26見込み	0 将来目標	
5 実績				訪問件数				人			6,768			初小口体	
	ξ.	5動実績				訪問指導した件数(延べ数)			\dashv /	/ -	5,615	•	2		
椰	"	1 20 / 151	#711-111L-1711 ×					\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	+/	<i> </i>	0,010	0,01	_		
L	+					-T		単位	/						
⑥ 成	ŀ		坦	項目名		項目説明				/±	H 24	H 25	H26目標値	将来目標	
		艾果指標	訪問指導実施率		全訪問指導件数÷全訪問件数×100		%	目標		80			85 「実績」		
果	` =		(VI. 201 - 1		いるかを達成率として示しています			実	**	83		が拡大図る	□ 縮小図る Shを		
	E	目標達成状況	とれたい	日標に近ついる	(いるかを達成)	¥として示している	*9	%	達成	率	104	10	チェックし	てください	
7改善点	Z F	平成25年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください) 平成25年度より、未熟児養育医療給付事業が県から権限移譲されたことに伴い、申請受付時に地区担当の保健師が、父母と面会し、母子が抱える悩みや問題について把握することが可能になり、その後の未熟児訪問指導事業等の支援につなげやすくなった。													
8) 1	評価 終了		事業実施方法(複数選択可	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□				少子化、核家族化が進む社会背景の中で、母親の抱える悩みも複雑化、多様化しており、より一層の支援の充実が必要である。 当該事業を通じて、母の育児不安等に早期に対応することは、母子の健全育成、虐待防止に繋がっており、今後も引き続き実施していく必要がある。						
		And plan at 1 to a mark	A ## = -1		一根付							·wか。			
佃	i 标记	今年度の状況と今後の方向性 亥家族化や地域との関係が希薄になっている社会状況の中で、妊娠中や出産直後は一層地域から孤立する時期である。この時期に母の育児不安に対応する よ、母子の健全育成、虐待防止に繋がる。「新生児・妊産婦訪問指導事業」、「こんにちは赤ちゃん事業」等により、早期に関わりが必要な母子への訪問によっ 育児不安・負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援に繋がっているため、より充実した支援を目指していく必要がある。													
		評価日	H26.8.1		評価者職氏	<mark>名</mark> 健康づくりる	支援課:	長岸健	次		·	·			
Ŧ	9 環境	有益な環境影響					有害な環境影響を及ぼす原因活動		文書の作成		規制を受ける環境法令等 無 緊急事態 無				
ā	影響	1244 E											光尽争员	無	